

支部協だより

第47号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101
 Fax.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

第七回定期総会、式典、祝賀会を終えて

会長 黒島 善市

結成二〇年の節目の年に第七回定期総会(通算一九回)と結成二〇周年記念式典、記念祝賀会を挙行し、一応成功裏に終えることが出来たことを先ず感謝申し上げたい。

リフィルムのCDROM化などNTT労組総支部からの物心両面にわたる全面協力の申し入れがあつて、大きな精神的支えになったことは確かであり、式典後の映写で会場の雰囲気も盛り上がり本当に感謝するものである。

特記事項としては、はじめてNTT関係者を含む部外の方をお招きしたこと

いく中でやはりというか、見落としや手違いも見られた。それでも会員や来賓の方のご理解とご協力で何とか無事終了することが出来「ホッ」としている。

その使用については、より多くの会員が喜んで参加できるようにものと思つているが具体的には幹事会に諮り詰めていきたい。最後に、感謝状を書いて下さった田盛さんをはじめ記念誌に寄稿された皆さん、祝賀会で余興された方々、

幹事会で基本的に全てを自らの手で取り組むことを確認したものの多少の心配は尽きなかった。しかし、横断幕の作成をはじめ全電通時代のスト権ストの八ミ

余談になるが、祝賀会で

る式典・祝賀会に参加していただいた皆様方に感謝すると共に本当に有難うございました。

第七回定期総会報告

二〇〇五年一〇月二〇日、第七回定期総会が、那覇市の沖縄かりゆしアーバンリゾートナハ(とまりん)で、一五時から開催されました。従来の総会は、本島内のリゾートホテルで、一泊二日の日程で行い、一泊の宿泊費は退職者の会一部負担という形式をとつて、夕食は交流会、翌日はレクで過ごしてきました。

今年のはじめは、二〇周年記念式典、同祝賀会が引き続き行われるため、より多くの会員の方々が参加し易いように配慮して那覇開催としました。

総会は、澤岬勝雄幹事の司会で、議長に宮良信男さんを満場の拍手で選出しました。名議長・宮良信男さんのスムーズな議事進行で滞りなく終了することができました。来賓挨拶では、退職者の会中央協事務局長内堀弘明さん、沖縄県高齢者・退職者団体連合会会長

中村栄さん、NTT労組地方自治体議員団幹事長玉城彰さんの三名からいただきました。

今回の総会の特徴的な事項は、「会員資格の消失」を決定したことです。即ち、退職者の会の年間会費二〇〇〇円を三年間未納すると会員資格を失います。同時に、退職者共済生協の「生命共済」「交通災害共済」「火災共済」の各共済からの脱会(加入停止)もなされました。なお、役員体制につきま

しては、新任間もない幹事の大山恭枝さんが退任しました。幹事については、若干名の女性の方をお願いする予定です。二五日に開催した第一回幹事会で確認された役員体制は、次表のとおりです。

役職名	氏名
会長	黒島 善市
副会長	東恩納盛正
"	垣花 廣光
"	本永 朝昭
事務局次長(会計)	長嶺 律雄
事務局次長	東崎原久子
幹事	瀬良垣武安
"	屋良 朝孝
"	平良カズ子
"	松田 竹徳
"	渡嘉敷直久

結成20周年記念式典について

第七回定期総会に引き続き、二〇周年記念式典が開催されました。主催者を代表して黒島会長は、「十年一昔と言われてる。二〇年という歳月にはそれなりの重みをやはり感じる。結成当初は二〇名足らず。休眠状態の時もあつたが、周りに支えられここまで来られた。本当に感謝する。これを機により充実した、会員に喜ばれる会の運営をしていきたいと思う。皆さんの一層のご協力を切にお願いする」とあいさつしました。NTT労組退職者の会、中央協議会会長・加藤正春氏からは、「沖縄支部協発足当時の一九八五年は、NTTが民営化した年である。又、この年に公的年金制度

幹事	澤岬 勝雄
"(兼北部地区協会会長)	与那覇誠勝
"(若干名女性を予定)	
特別幹事	
宮古地区協議会会長	狩俣 寛次
八重山地区協議会会長	垣花 格
会計監査	天久 正範
	宮城 順一

の大改悪があり、今、年金受給者は、毎年〇・九%ずつ受給額が削減されている。この様な厳しい中でも、各支部協議会の工夫と努力により、会員の生きがい・親睦を深める行事やボランティア等の取り組みを定着させています。今後さらに魅力ある活動にしてほしいとのエールを戴きました。

又、N T T 労組沖縄県総支部委員長の砂川博康さんからは、笑顔で過ごし、安心して希望が持てる明日を作るためにも、「現役と先輩の皆さん」が、現退一致で、力を出し合い、協力しあって行きましようとの激励の言葉をいただきました。その後、感謝状の贈呈式にうつり、以下の八名の方々に感謝状と記念品が贈られました。

初代会長 安里清林
創設時の幹事
大田安子、玉城健二、
砂川 宏、東崎原久子
二代会長 富永盛一
三代会長 稲福政吉
創設時の世話役 勝連正也
なお、式典終了後、七四年のスト権ストライキを行った那覇局を中心とした集会模様の映写式を行いました。

このフィルムは、瀬底真守、典参加の会員の方々も、席世持二蔵両氏がカメラを回したのを、現支部の大嶺総務部長が音楽を入れてCDに編集したものです。若かりし頃の桃原用行氏や亀甲委員長等多くの組合員がはつきりと写っていました。式

結成二〇周年記念祝賀会

澤岬幹事の司会そして渡嘉敷幹事の開会のあいさつで祝賀会は始まった。

主催者あいさつで黒島会長は、初めてN T T、県高退連、共済生協等部外の方をお招きした。これから始まる幕開け、その他すべて会員による手作りです。心を込めて演技するので余興を楽しみ、かつ会食、歓談してほしい。そしてこまごまご協力があったからだと思感謝の意を述べた。

引き続き祝辞にN T T 沖縄支店長日隈康行氏が出張のため村吉政男企画部長、比嘉勝美沖縄電同友会会長があいさつ、そして九二歳の小渡有得さんによる乾杯の音頭でにぎやかに食事タイム、余興に入った。

失語症ゆんたく会会長をされている大城栄徳さんご夫妻が遅くまで、昔の職場の方々と楽しそうに話を交わされているのが印象に残っている。そして最後のカチャーシーでは小渡有得さんも元



民舞サークルの皆さん



大城栄徳さんご夫妻と...

宮古地区協

支部協議会三日後の二三日(日)、宮古地区協の再出発となる総会があり、黒島会長が出席した。小学校の運動会等も重なり男子のみ八名と淋しいものだったが、今後、会長、事務局長の外、副会長、監査を男女各々一名選出し役員体制を確立することなど確認し合った。

参加者からの質問に黒島会長は

一、支部・地区協共に会長など役員の手当は無い(但し支部協は当番で一日出る)と日当一、五〇〇円がある)会員の手助けが不可欠。

二、「まもるくん」はテルウエルで、当方は「しぐなる」一口五〇〇円で、死亡百万



和やかに祝賀会も弾んで...

円、通院八百円等。

三、スト資金について。N T T 労組からこれまで年間一億五千万円もらい、会の運営に当てている。更に今年から五千万円上積みされたが、これは積み立てて五年ごとにイベントなどをして会員に還元したいが、具体的には支部協代表者会議で議論していく。

四、共済生協でのアフタケアについては、総支部又は支部協に連絡すると共に地区協にも一報入れてほしい。地区協から支部協三役と連携をとりサポートしていきたい。

その他色々話を交わしたが、年一度の総会には支部協から三役が出向くことは組織強化のためにも必要と実感した。(黒島会長)

お知らせコーナー

一、「医療保険制度の充実を求める署名」について

①すでに、受取払いの封筒を入れて、用紙を送付済みです。退職者本人のみの署名だけでなく、ぜひ御家族、隣近所へもお願いして署名欄をうめて下さい。

②十一月一六日に集約して、一八日中央協へ送付し

総会余話

議長選出について

総会の開会直前になり、議長へなる方へのお願いをしていないことに気が付き大慌て。急遽宮良信男さんを電話でお願いしたところ、快く受諾していただき、開会することが出来ホッとす。そして軽妙な話術と、質疑が途絶えそうになると各地区協からの報告を受けると、見事な議事進行に改めて感謝する。

ますので、支部協へ早めに送って下さい。

二、N T T 労組弁護士への法律相談の利用について

全国で七一名の弁護士で弁護士団体制を作り、法律相談に答えられるよう契約しています。沖縄の担当弁護士は、第一法律事務所池宮城紀夫氏です。支部協事務所又は、弁護士事務所でも相談できるようになっています。いずれの場合も、支部協にご一報下さい。

三、忘れ物について

先日の祝賀会場で、健康用(?)の数珠状の腕輪が忘れ物として届けられています。